

議会だより

# おやま町議会

No. 116



## おやまの文化財

### 国登録文化財——「豊門会館（和館、洋館）」

豊門会館は、当時富士紡績株式会社専務取締役であった和田豊治（1881～1924）の自邸として、明治42年頃、東京向島に建てられ、大正14年に小山町に移築されました。

和館部分は木造2階建て、洋館部分は木造平屋建てとなっており近代住宅建築の典型を見ることが出来ます。天井、建具、階段などは、優れた意匠をこらして造られ、近代実業家の暮らしぶりをうかがい知ることが出来ます。

平成17年6月に国の「登録文化財」に登録されました。

絵：大貫正之（坂下）

- 9月定例会 平成19年度決算を認定……………2～3
- 決算審査意見書……………4
- 補正予算を承認……………5
- 「ミニポートピア建設」に関する2つの請願……………6
- 常任委員会の報告……………7
- 一般質問 6人が町の見解をただす……………8～13
- 行政視察報告・私からの提言……………14

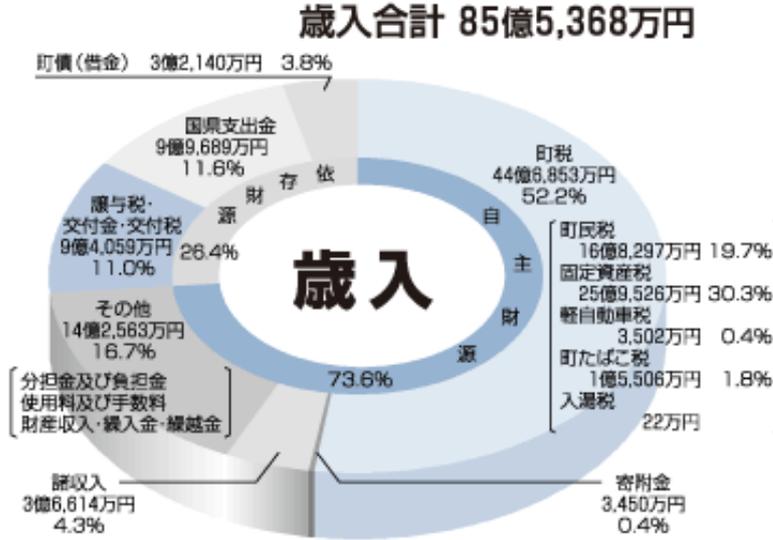
## 9月定例会

# 町税は前年度より2億7千万円の増収

9月定例会が9月3日から9月22日まで、20日間の会期で開かれました。

今定例会には、当局から平成19年度決算の認定や平成20年度補正予算など25議案と、議員から意見書の採択1件の合計26議案が提出されました。

審議の結果、いずれも原案のとおり承認可決しました。請願2件については、継続審査とすることで決定しました。



## 決算を集中審議

平成19年度一般会計ほか7会計の決算審議を行いました。

一般会計は歳入総額85億5,368万円、歳出総額83億1,000万円、翌年度への繰越額3,272万円を差し引いた実質収支額は2億1,539万円となりました。

審議の結果、いずれも原案のとおり認定しました。

### 水質検査結果に異常はあったか

Q 公害対策として実施している、河川水質測定や、工業排水路水質測定の実績と対策は。

A 現在、町内21河川、36か所を実施しており、大腸菌の多い場所が、数か所ある傾向ですが、特に異常はありませんでした。

また、工業排水測定は、富士小山工業団地とハイテクパーク富士小山で、毎月1回検査をしており、基準を上回った場合は、改善を促しています。

Q 一般廃棄物最終処分場の地下水水質検査結果と今後の計画は。

A 一般廃棄物最終処分場の地下水水質検査結果と今後の計画は、

現在使用中の生土、旧処分場である吉久保、須走、大御神の4か所を調査しており、いずれも基準値以内の検査結果です。

今後は、吉久保処分場の完了手続きを進めていく計画です。

Q 町税未納者が固定資産税、町民税ともに18年度より上回っているが、今後未納者を減らすための対策は。

A 国から地方への税源移譲に伴う地方税の増額により、年度内に納められない人が若干増えましたが、さらに納税相談や法的手段を強化していく考えです。特に高額滞納者、納税約束が守られない悪質な滞納者に対しては「静岡県地方税滞納整理機構」を活用し、税の公平を期するよう、努力していく方針です。

Q ハイキングコースの巡視と維持管理の内容は。

A 秀峰山岳会やNPO法人まち再生ネットふじおやまの皆さんなどに委託しており、異常があった際は、連絡をとりながら対応しています。

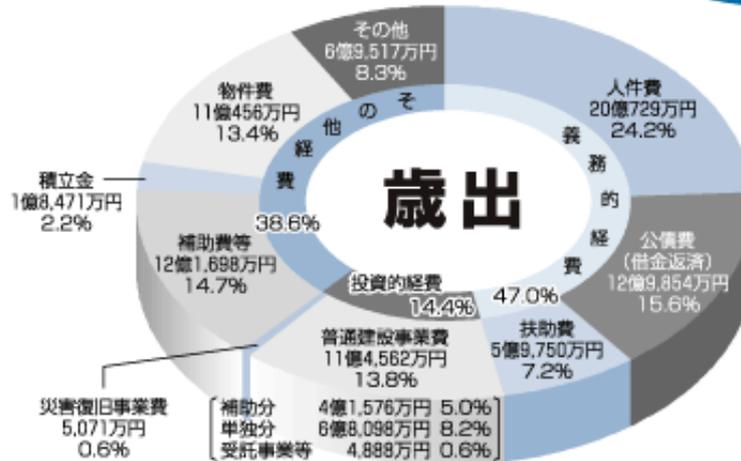
維持管理は、コース内の草刈りや補修を主に実施しています。今後は、コースの状況を見ながら園機応変

後

# 19年度決算を原案どおり認定 歳出総額は前年度対比8.6%の削減

歳出合計 83億108万円

## 一般会計



特別会計		
会計別	歳入	歳出
国民健康保険	19億1,379万円	17億1,445万円
育英奨学資金	322万円	313万円
老人保健	17億9,874万円	17億9,429万円
下水道事業	2億1,907万円	2億 397万円
土地取得	3億6,139万円	3億6,139万円
介護保険	11億3,954万円	11億1,615万円

水道事業会計		
内容	収入	支出
収益的収支	2億2,113万円	1億9,009万円
資本的収支	3,684万円	1億 116万円

**Q** ゴルフ場利用者、利用税交付金が消費の低迷や景気の低迷のため、18年度と比べて減っているが、その要因はなにか。  
**A** その年の天候、景気などによって利用者が増減したと考えます。各ゴルフ場では、いろいろなサービスを考え営業努力をしているようです。

**Q** 「あしがら温泉」施設の充実を  
**A** 「あしがら温泉」の泉質は良質だと好評ですが、露

**Q** 天田日や休憩所を広くして欲しいなどの要望を受けている。今後、施設の充実についての考えは。  
**A** 改善をすぐ行うことはできませんが、施設の充実や拡充することは必要であると感じますので、今後検討していく考えです。

**Q** 幼保一元化調査費用の内容と結果は。  
**A** 駿河幼稚園とすまぬま保育園の一体化または一元化ができないか検証するための調査を行いました。

**Q** 国民健康保険におけるレセプトの審査、管理体制は。  
**A** 年間約6万3千件のレセプトを国保連合会で審査した後、専門的な資格を有するペーパンの町臨時職員が再チェックを行い、適正に管理しています。

# 決算審査意見書

7月8日から8月5日の間、平成19年度小山町歳入歳出決算審査と小山町財政健全化判断比率等審査を行いました。

意見書の要旨は次のとおりです。

監査委員 尾崎孝太郎  
憲伏 武

## 決算審査の報告

### 自主財源の確保が課題と指摘

- 1 一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について  
関係諸帳票、証憑書類等照会した結果、決算に関する計数はいずれも正確であった。
- 2 予算の執行について  
議決の趣旨にそって、おおむね適正に執行されており、所期の目的を達成している。  
なお、収入未済額のみならず解消に努められたい。
- 3 会計経理事務について  
おおむね適正に処理されていた。
- 4 財政運営について  
おおむね所期の目的に沿って成果を上げているものと認められた。  
財政力を判断する財政力指数は一・一四六となり、引き続き普通交付税の不交付団体となった。  
原油等資源高の状況を抑え、景気の先行きも懸念される。一方、小中学校の耐震化工事等、今後に多額の歳出が見込まれている。  
今後、一層の支出の効率化と、自主財源の確保が急務である。
- 5 公有財産、物品等について  
電算管理への移行も完了し、基金も含めて、財産はおおむね適正に管理していると認められた。  
なお、遊休財産の処分等を含めた活用を計られたい。

## 財政健全化判断比率等審査の報告

### 数値は正確であると認められる

財政指標の審査にあつては、各比率の算出のために法令に基づいて資料が集められているか算定資料に不

足はないか、算定過程において誤りはないかなどについて、平成19年度決算並びに決算統計資料と照合し、慎重に審査を行った。

その結果、各比率共に法令に準拠して算出されており、その数値は正確であると認められた。

### ■健全化判断比率 (単位：%)

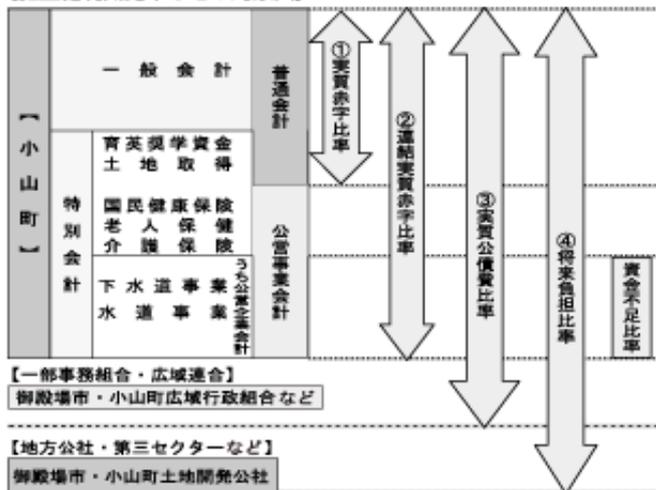
区 分	小山町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	—	14.61	20.00
② 連結実質赤字比率	—	19.61	40.00
③ 実質公債費比率	14.2	25.0	35.0
④ 将来負担比率	94.8	350.0	

\*「—」表示は黒字で算定されないため

### ■資金不足比率 (単位：%)

区 分	小山町の比率	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	20.00
水道事業会計	—	20.00

### 【健全化判断比率などの対象図】



- ①実質赤字比率  
標準財政規模（地方自治体の標準的な収入）に対する普通会計の実質赤字額の割合
- ②連結実質赤字比率  
標準財政規模に対する、全会計を対象とした実質赤字額の合計の割合
- ③実質公債費比率  
標準財政規模などに対する実質的な公債費（町の借金の返済金）相当額の割合  
3年間の平均値を使用します
- ④将来負担比率  
標準財政規模などに対する一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の割合
- 資金不足比率  
公営企業ごとの資金不足額が、事業の規模に対してどの程度あるのかを示す割合

【計算  
一般会  
正補】

# 歳入歳出総額 89億9千834万円を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億9千57万9千円を追加し、予算の総額を89億9千834万円とすることを全員賛成で承認可決しました。

【歳入の主なもの】

・ 小山中学校校舎耐震化工事の準備工事へ充てるため教育施設準備基金の繰入金 4千万円

・ しずおか林業再生プロジェクト推進事業として林業者に間伐の機械導入費用の一部を補助する補助金 500万円

・ 平成19年度の実質収支額2億1千539万円から現計予算額1億円を差し引いた前年度からの繰越金 1億1千539万円

・ 平成19年度の実質収支額2億1千539万円から現計予算額1億円を差し引いた前年度からの繰越金 1億1千539万円

【歳出の主なもの】

・ 町道3路線の工事費と1路線の道路敷地購入費、2路線の立木物件移転補償費 1千906万円

・ 原動機付自転車の富士山型標識を作成、購入する費用と地方税法の改正に伴い公的年金者の個人住民税徴収システム変更にかかる電気処理委託料 990万円

・ シルバー人材センターがシルバークラフプラザに移転したことによる老人福祉センター用地測量と建物解体工事費 978万円

・ 吉久保一般廃棄物最終処分場の用地取得と代替用地として土地購入にかかる測量委託料、用地購入費などと広域行政組合RDFセンター負担金の精算額 2千459万円

・ 北郷中学校体育館の耐力度調査委託料と来年度計画の小山中学校校舎耐震化工事にあたり廊下の解体など既存校舎の改修工事費 5千452万円

・ 各小学校の緊急性のある修繕と定柄小学校体育館耐震補強計画実施設計委託料 766万円

特別会計

## 平成19年度決算にともなう補正

●国民健康保険

歳入歳出それぞれ4千286万円を追加し、総額18億8千496万円とすることを可決

●老人保健

歳入歳出それぞれ2千151万円を追加し、総額2億2千884万円とすることを可決

●下水道事業

歳入歳出それぞれ680万円を追加し、総額2億1千244万円とすることを可決

●介護保険

歳入歳出それぞれ2千693万円を追加し、総額1億8千157万円とすることを可決

●土地取得

歳入歳出それぞれ709万円を追加し、総額15万円とすることを可決

●介護保険

歳入歳出それぞれ2千693万円を追加し、総額1億8千157万円とすることを可決

議会を傍聴してみませんか

次回定例会  
11月28日 午前10:00から  
開会の予定  
役場4階までお越しください

3件の  
工事請負契約を  
締結

●町道足柄二保線道路改良  
舗装工事

延長40mの間を改良舗装する工事で、契約額は5千722万6千円、完成は平成21年3月27日の予定です。

●町道原向中日向線道路改良  
良舗装工事(変更)

道路の地盤補強と安全対策を図る改良工事で、変更増額は178万5千円、契約総額は7千528万5千円となりました。

●豊門公園整備工事

公園敷地面積約2万300㎡に植栽されている樹木の伐採・剪定と敷地造成、駐車場整備、トイレの設置などの公園整備を行う。

契約額は、1億5千225万円、完成は平成21年9月25日の予定です。

いずれも、全員賛成で承認可決しました。



▲開通した町道原向中日向線

12月定例会の  
お知らせ

12月定例会は次のように開催する予定です。

◆11月28日 町長から12月議会への提出議案の説明、委員会付託

◆12月4日 一般質問

◆12月8日 総務建設委員会

◆12月9日 文教厚生委員会

◆12月15日 常任委員会

◆委員長の審査報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。

## 条例の一部改正

○職員（公益法人等）への職員の派遣等に関する条例  
 ○議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例及び小山町特別職報酬等審議会条例

○消防団員等公務災害補償条例及び小山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例  
 いずれも用語等の整理をする内容の改正です。

3 議案については、全員賛成で可決しました。

## 人権擁護委員 4名を推薦

町民の基本的な人権の擁護、自由人権思想の普及、高揚を図るため、法務大臣が委嘱する人権擁護委員の任期

満了により4名の方を推薦することに同意しました。

満了により4名の方を推薦することに同意しました。

## 外川義一さんを選任

固定資産評価審査委員会  
 任期は平成23年12月31日までです。

## 固定資産評価審査委員会 外川義一さんを選任

任期は平成23年12月31日までです。

## 「ミニポートピア建設」に関する請願の継続審査に

「ミニポートピア富士おやま(仮称)」に関する請願(請願者 高根北郷総合財産管理組合 組合長 滝口文夫) 「社会教育環境・生活環境の悪化を伴う場外舟券売場建設反対の請願」(請願者 美しい小山町を願う町民の会 代表 湯山昇)の請願審査については、経過を確認し、閉会中も継続して調査を行う必要があるため、12月定例会まで「継続審査」とすることに決定しました。

## 北駿地域の重度心身障害児(者)受け入れ施設の充実を求める意見書

静岡県立御殿場特別支援学校は、県へ移管してから10年が経過しようとしているが、その時期に入学した生徒たちは卒業を間近に控え、地域で生活するための進路先を探す必要に迫られている。

国は障害者自立支援法のもと、障害者が居住地で地域生活を送るための政策を進めているが、御殿場特別支援学校の地元である、御殿場市と小山町の通称北駿地域には、重度心身障害児(者)の受け入れ施設が不足しているのが現状である。

そのため、北駿地域の重度心身障害児(者)は現在、通院・送迎等に長い時間を要して、仕方なく静岡市の県立こども病院や、伊豆の国市の伊豆医療福祉センターまで診察・訓練・ショートステイ等に通っている。そして、卒業後の長い生活を支えるべき主な進路先である通所施設は、すでに新たな受け入れが難しい状況にあり、このままでは家庭で過ごすことを余儀無くされる。

これらのことは、重度心身障害児(者)とその家族への大きな負担となり、望んではいなくとも地域生活を送ること自体が難しくなってしまうことが予想される。

さらには御殿場特別支援学校の生徒数が増加傾向にあり、肢体不自由な生徒や医療的ケアを必要とする生徒も年々増加していることから、御殿場市、小山町としても障害者自立支援法に基づき、障害児(者)が地域で自立した生活を営むことが出来るよう、障害福祉サービスを推進している。しかし、医療的ケアを必要とする重度心身障害児(者)に対する訓練、施設サービスについては、専門的な知識と技術を必要とするため、1市1町の規模だけでは対応が困難な状況にある。

よって、県におかれては、関係市町の実情に配慮し、重度心身障害児(者)が安心して地域生活を送れるよう、下記の事項について強く要望する。

### 記

- 1 北駿地域における重度心身障害児(者)の医療的ケアにも対応可能な入所施設、通所施設の充実に向け、早急に対処すること。
- 2 北駿地域における重度心身障害児(者)の医療的ケアにも対応可能な居宅介護サービスやショートステイ、及び施設等でのPT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等による訓練などのサービスの充実を図ること。

※全員賛成で可決し、静岡県知事へ送付しました。

## 総務建設委員会の報告



▲委員会での審議の様子

総務建設委員会に付託された平成20年度補正予算3議案の審議内容は次のとおりです。

### ○一般会計

歳入の中で、湯船区「ミセン建設に伴う県補助金の減額と自治振興費寄附金の増額との関連について、林業再生プロジェクト推進事業補助金増額の理由などについて審議しました。

### ○下水道事業特別会計

### ○土地取得特別会計

以上3議案は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

### 平成19年度歳入歳出決算

### ○一般会計

今後の自主財源の確保、ゴルフ利用税の推移、「あしがら温泉」「道の駅」の利用状況と促進に対する取り組み、企業誘致や有害鳥獣対策、竹之下農村公園の整備状況などについて審査しました。

### ○下水道事業特別会計

加入促進対策、須走浄化センターの炭化設備撤去による汚泥処理の対応について

### ○土地取得特別会計

旧足柄新宿学園の今後の対応と跡地利用について

### ○水道事業会計

給水人口が年々減少している理由や第4期拡張事業計画の内容と工事進捗状況などについて  
以上、4件の決算認定は全員賛成で原案のとおり認定しました。

## 文教厚生委員会の報告



▲委員会での審議の様子

文教厚生委員会に付託された平成20年度補正予算4議案の審議内容は次のとおりです。

### ○一般会計

### ○国民健康保険特別会計

### ○老人保健特別会計

### ○介護保険特別会計

Q 介護保険の準備基金積立金の運用状況と来年度の介護保険料の見直しは。

A 積立金は今回の補正を含め約6千万円となります

ので今年度は十分やっているといると思います。来年度は現在検討中で今の基準額3,650円を大きく値上げしなくてもやっていると考えています。

以上4議案は審議の結果いずれも原案のとおり全員賛成で可決しました。

### 平成19年度歳入歳出決算

### ○一般会計

Q 英語の授業の今後の見直しは。

A 学習指導要綱が改定になると、平成23年からは小学校の5、6年生で年間35時間の内容となります。

ALT（外国人英語指導員）が入っている授業で低学年では10時間程度です。中学校でもALTの授業を増やそうと考えています。

### ○国民健康保険特別会計

### ○育英奨学資金特別会計

### ○老人保健特別会計

### ○介護保険特別会計

以上、5件の決算認定は全員賛成で原案のとおり認定しました。

● 一般質問 ●

# 6人が町の見解をたず



▲ペットボトルの中間処理



池谷 洋子

## 世界の子どもを救うため ペットボトルのキャップの回収を

1 町では月2回資源ごみとしてペットボトルを回収していますが、キャップは可燃ごみとして処理されます。実は、このキャップの

回収金が世界の子どもにワクチンを届け命を救うことが出来るのです。そこで町も役場や小・中学校にキャップの回収ボツ

クスを設置しNPO法人に寄贈してはと考えます。エコの推進と町の子ども全員が世界の子どもの実情を知ることになると思いま

現行のアナログテレビでは番組を見られず個人負担で対応チューナーが内蔵テレビの購入が必要となります。そこで高齢者や障害者の世帯に負担軽減の支援策として地上デジタル放送導入費を助成してはと考えますが、町の見解を伺います。

### 町長答弁

## コストを考えると実施できないと判断します

1 キャップを集めて、世界の子ども達にワクチンを送ろうという運動について、現在、町内で実施されている方々もおります。しかし、回収したキャップの送料が送り主の負担であることや近くに集めて送ってくれる団体が無いなどの課題もあります。

2 このため、町内の小・中学校での回収は、現時点での早急な実施は難しいと考えています。また、町が一

一般収集ごみとして収集した場合に、郵送や協賛事業者に持ち込むなどの方法がありますが、収集の手間や販売までのコストなどを考えると現時点では実施できないと判断しています。

2 総務省の諮問機関、情報通信審議会において、生活保護世帯への助成についての答申がありました。高齢者や障害者については、地上デジタル放送への対応が困難な世帯に限って、地

方自治体を中心となり、個別に特別なサポートをするとの答申となっています。有識者からは、当分の間、アナログ波を停止しないで延期すべきであるとの意見も出されており、地上デジタル放送への移行には、課題が山積しています。

今後、国の審議状況等を充分見極めながら、手遅れにならないよう、町の対応を検討していきたいと考えています。

● 一般質問 ●



▲健康福祉会館に掲げられている横断幕



田田 豊 造

# 町長の政治姿勢とポートピア建設の本心は

1 健康福祉の町づくりについて。健康福祉とは「致知」という本に安岡正篤氏の造語であり、文中におい

て健康とは五体満足であるうと、心安らかでない健康とは言えないとありまして、今それを町政の柱と

した意図は、具体的な政策と、自主自立に対する町の姿勢は。ポートピア問題との関係についてもお答えください。

2 ポートピア問題について、3月議会の答弁のその後、いかなる対応がなされたか。

3 ポートピア建設に対する

る教育環境への懸念により各種団体から陳情書が出されたが、その取り扱いと回答はどのようにされたか。  
4 6月21日付け岳麓新聞の記事に、町長はポートピア建設反対と出たが、これについて本当にその気持ちであるのか、明確にお答えください。

## 町長答弁

### 「健康福祉」の精神にはそぐわないと考えます

1 町長就任以来掲げている「健康福祉づくり小山町」は、町のコンセプトとして掲げるものであります。内容については、今年の3月議会定例会で説明した5つの重点施策を定め取り組んでおります。

2 自主自立についての基本理念は、昨年6月議会定例会で「できる限り、ほかにお世話にならず、自分たちでやって行く」という意味であると答えました。

3 ポートピア建設による教育環境への懸念については、要請書等が提出される際は可能な限り、私自身が応対し真摯に皆さんの話を聴いてきました。これまで文書等による回答は求められていないので口頭により答えてきました。

4 新聞記事についてですが、ポートピアは「健康福祉」の精神にそぐわないと

● 一般質問 ●



日井 淳一

# 水と緑溢れる田園都市おやまの 森林整備の推進を

静岡県は、平成18年度から「森林づくり県民税」を創設し、県民税に年400円を上乗せする形で私達か

ら徴収しています。小山町は、年間約66万円、平成22年度までの5年間でおよそ2324万円の税を

納めることとなります。町内に事業所を持つ法人も資本金に充じてこれを納めま

すので、その額はさらに膨れ上がります。

1 小山町は、この「森林づくり県民税」の基金を活用し、「水と緑溢れる田園都市おやまの森林整備」を

どのように進めていくのか、まず、荒廃した人工林、スギ、ヒノキ林への活用と

## 広報によるPRや町民を対象

### 町長答弁 に説明会を予定



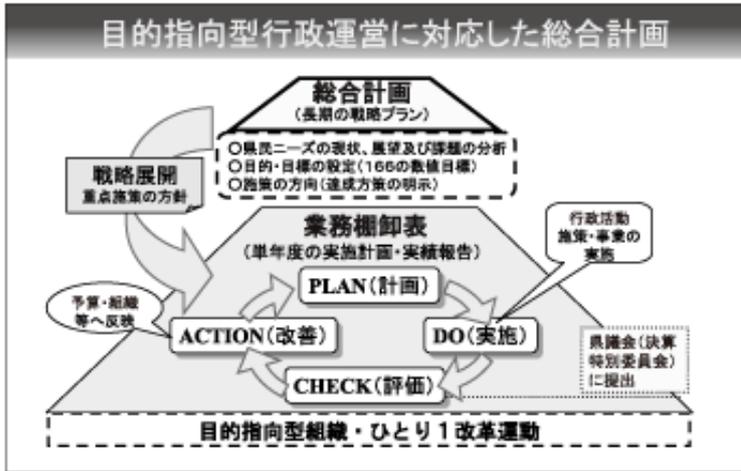
▲大沢林道の不法投棄撤去状況

1 町の民有林は、現在5993haで、その内、人工林は30223haあり、県平均とほぼ同じです。町の森林整備は、国内産材の価格不振等により、思うような森林管理ができていません。公費による森林撫育に

2 放置された里山林、竹林、広葉樹林等の活用と施策展開については、人工林と同様の対応をしていきますし、フナや力エテ等の広葉樹林を増やすための施策

3 不法投棄防止には、ゲート設置等林道の通行制限が効果的であり、現在5路線にゲートを設置しており、今後も逐次ゲート設置を検討いたします。

● 一般質問 ●



▲静岡県行政改革室から資料提供



岩田 治和

# 行政改革に県庁方式を採用 する考えは

住民の多様なニーズに対応しながら総合的な行政の果たす役割は、ますます大きくなり、行政改革について

では一層重要な課題である。静岡県庁においては、県民生活の向上のため業務の質を向上させながら、で

きるだけコストをかけず、目的を明確にした戦略的な行政運営(NPM方式)に取り組んでいる。この内容は、総合計画による数値目標の設定、業務棚卸表の活用、目的指向型

の組織編成、ひとり1改革運動、民間能力の活用などがあり、職員が行革に対して認識の高さにより左右されるとしている。

成果を判断、評価をし、ゼロベースからの抜本的、

静岡県庁方式の行革を採用する考えはないのか伺う。

## 町長答弁

# 行政評価の手法を検討していきます

県が実施している行政改革のうち、「目的指向型の組織編成」については、本町では「スタッフ制の導入」を、「ひとり1改革運動」は「職員提案制度」を、「民間能力の活用」は「小

いけません。この業務棚卸表とは、「行政評価」と呼ばれている評価手法で、各自自治体の独自性等により、指標や目標の設定、評価の手法等については統一したものはまだ確立されていません。

が行政目的や守備範囲、現状を正確に把握した上で、行政が何を自指して、何を自指しているかを住民に正しく理解してもらうことが必要不可欠です。そこで、昨年に引き続き

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

# 諸物価の高騰に行財政の対応は

1 本年当初から、米国の金融市場の混乱及び熟エネルギーの源である原油価格の高騰は、日本をはじめ世界経済に深刻な影響を及ぼしています。さらに、石油製品は価格の値段にはね上がり、関連

して食品食材の物価上昇は国民生活に多大な経済的負担の増加となっております。この諸物価の値上げによる影響は、行政機関においても深刻な問題だと考えま

「来てよし、見てよし、体験してよし、住んでよし」を目指して、都市人口の拡大や観光空間づくりを進める計画を策定しました。しかし、進展が図られていないのが現状です。今後、行政と地域が一体となって取り組むべき方針について伺います。

## 町長答弁

### 経費削減に最大限努めます

1 今回の原油価格の高騰は、燃料費、光熱水費への影響が大きいと考えます。その影響額について試算をしたところ、燃料費が現計予算に対して、約1千800万円、光熱水費が約500万円、購材料費で約200万円の不足が予測されます。その対応として、すべての公共施設で、可能なかぎり節電、節水等をし、燃料費、光熱水費の抑制を更に徹底するよう指示しています。

また、国からの交付金等の減額も懸念されるので、歳出を可能な限り抑え、引き続き経費削減に最大限に努め、不足分は、補正予算で対応します。

ブサッカー大会や足柄商工会、婦人会の活動など、地域を盛り上げる活動も続いています。町としては、足柄地域と協働して再生計画を推進することが役割であると考えています。今後は、足柄ふれあい公園の有効利用も含め、財政状況の推移をも見ながら、再生計画を地域のみならずと着実に取り組んでいきます。



▲公用車の燃料費への影響は

● 一般質問 ●



▲いきど保育園遊戯室



鷹 鳩 邦 彦

# 学校・幼稚園・保育園の暑さ対策は

地球温暖化の影響が、小山市でも真夏日の日数が増えているように感じます。

町内各施設の空調整備状況について、また未整備施設について、今後どのように計画されているのか次の

- 1 各施設、幼稚園、保育園の設置状況はどのようになっているのか伺います。
- 2 学校や幼稚園では過日別に移行してから、職員
- 3 点について伺います。

は夏休み中でも毎日出勤するようにになりました。そこで職員室、校長室、会議室、保健室等に、空調設備の導入は必須と考えますが、当局の考えを伺います。

## 町長答弁

### 施設の状況により空調設備の導入を検討します

- 1 各施設により、空調設備設置状況は異なっています。保育園については各園の特定の保育室等に、幼稚園及び小学校については一部の学校の特定の部屋に、中学校については各学校の特定の部屋に設置しています。
- 2 子どもたちが使用する教室については、国の基準から必ずしも早急に整備しなくてはならないという状況ではないと考えています。

従前から、生活様式の変化や地球温暖化による気温上昇等に対応するため、施設改築に併せて職員室等に空調設備を設置してきました。小山中学校についても、耐震化の改築時に、職員室等に設置する予定です。

現在、学校の耐震化を最優先に実施しているので、即座に対応できませんが、応急措置として、職員室に網戸の設置を進めたいと考えています。

## 私からの提言



田代 信江 (宿)

### 観光おやまの発展に…

最近、静岡県でも観光に力を注ぎ、毎年8月21日を県民の日と決め、ふれあいもてなしガイドと銘打って27の市町で見せ処、聞かせ処の案内をしています。

今年で2年目、小山町はポランティアガイド「四季の旅人」が金太郎誕生地と渾めぐりを実施。昨年は地元の人達が多く、今年は熱

海、三島、沼津等、町外の方々の参加も見られ、水と緑の町、小山町を満喫してもらいました。

中には思い出を歌に残して「わが町の史跡めぐりの渾いっくつ 悲喜もごもごの話しを聞けり」と詠んでくれた方もいました。

私も小山町に住み60年余り、心に少しゆとりができ

たので御案内の一端を担っています。

一期一会の時、町のガイドができる事に、喜びを感じています。

小山町でも1年を通し、祭りを始め多種多様なイベントを開催し、全国から、また外国から沢山のお客さんを迎え嬉しい限りです。

議会の御支援を期待しています。

## 行政視察報告

### 町内視察研修報告

平成20年度町内視察研修を、8月4日に、実施しました。

最初に、富士学校市街地訓練所を見学しました。

演習場管理課の担当の皆さんより大変ごまかな説明を受け、戦争の悲惨さと怖さを実感しました。

「いざ有事の時の為に自衛官は、日々訓練している」という言葉に、あらた

めて頭の下がる思いでした。

昼食後、足柄地区に事業所がある、エスアイアイ・ナノテクノロジィ(株)を訪問し、最先端の技術を見学させていただきました。

ナノテクノロジィとは、物質をナノメートルの領域において自在に制御する技術のことだそうです。

(ナノは、10億分の1の単位の量である。)

このような最先端技術をもちつ事業所が、小山町にあるのだという実感と感動をおぼえました。

最後に、豊門公園を訪れ、今後の整備の説明を受けました。工事終了後は、町民にとつて、憩いの場所になることを願いつつ、今回の視察研修を無事終わることが出来ました。

(米山千晴 記)



▲富士学校市街地訓練所

### 皆さんの声をお待ちしています!

町づくりや子ども教育のことなど、どんなことでも結構ですので、あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。

ご応募いただいた内容は、広報委員会で選考し、ご本人に承認していただいた上で「議会だより」に、掲載することとします。

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

### 会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。

なお、9月定例会の会議録は、11月下旬から閲覧できる予定です。

議会だよりは、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

### 編集後記

「暑さも彼岸まで」と言われますが、今年の夏は、お彼岸を境にめっきり秋らしくなりました。そして、お米の作況指数が発表され、静岡県は、昨年は98で今年は100でした。

また、台風が本列島には上陸していません。素晴らしい年でもあります。

議会では、昨年9月定例会2日目の朝方に、台風9号が伊豆半島附近を通過し、「いざよ風警報」の発令の頃、町内に大きな被害があり、議会の開催が危ぶまれました。地球温暖化の影響がこの地域にも影響しているように感じます。

議会において少しでも温暖化を阻止できるような施策の議論ができればと思います。

〔米山千晴 記〕

- 〈編集委員〉
- 委員長 込山 恒広
  - 副委員長 米山 千晴
  - 委員 白井 淳一
  - 委員 田代 一夫
  - 委員 岩田 治和

